

## 総排泄腔遺残症・外反症・MRKH症候群

加藤 聖子 九州大学大学院医学研究院 教授

木下 義晶 新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授

浅沼 宏 慶応義塾大学医学部泌尿器科 准教授

宮田 潤子 九州大学大学院保健学部門 講師

### 【研究要旨】

先行研究により総排泄腔遺残・総排泄腔外反については、全国調査で概要が把握され、小児慢性特定疾患、難病指定を達成することができ、2017年にガイドラインの策定がなされた。本疾患群はバリエーションがあるために多診療科、多職種が長期に関わる包括的オーダーメイド型診療が必要である。今後、患者一人一人の状況をさらに細かく把握し、適切な治療を提供するためには前向きレジストリー構築が必要である。本研究ではレジストリーの構築、診療科間の情報共有、患者・市民への啓発活動を行うことを目的とする。

### A．研究目的

本研究では政策研究班としてレジストリーの構築、診療科間の情報共有、患者・市民への啓発活動などを目的として研究を行う。

### B．研究方法

現存の学会・研究会保有の登録制度を利用したレジストリー構築を行う。

診療科間の情報共有の手段として他研究グループとの情報交換、学会間の連携、共同シンポジウムなどを行う。

市民公開講座による啓発活動、患者会との交流、HPなどによる情報発信を行う。

#### （倫理面への配慮）

本研究は申請者各の施設の倫理委員会の承認の元に実施する。

情報収集は患者番号で行い患者の特定ができないようにし、患者や家族の個人情報の保護に関して十分な配慮を払う。

また、患者やその家族のプライバシーの保護に対しては十分な配慮を払い、当該医療機関が遵守すべき個人情報保護法および臨床研究に関する倫理指針に従う。

### C．研究結果

#### 前向きレジストリーの構築

- 総排泄腔異常症のレジストリーを直腸肛門奇形研究会の疾患登録との連携にて確立する方向性で検討した。2020年度に同研究会の運営委員会へ班研究との連携について承認を受け、草案作成へ着手した。
- 直腸肛門奇形研究会登録を1次登録として利用し、前向きに2次登録として新たなレジストリーを確立する。患者さんが出生後、5歳時、10歳時、15歳時、20歳時など5年毎に追跡調査を行う。
- 小児慢性特定疾病や指定難病の個票の内容、窪田班で行われた全国調査、日本産科婦人科学会女性ヘルスケア委員会調査の内容を参考に草案を作成した。
- 草案について2022年度の直腸肛門奇形研究会の運営委員会、施設代表者会議においてその内容について承認を得た。
- 今後、患者さん自身にも意見を頂き、研究計画書の策定などを進めて

いく。

#### 診療科間の情報共有

班員の活動により、関係の学術団体が主催する学術集会などにおいて、本疾患に関する横断的なシンポジウムを組んで頂くことができた。その取り組みは継続的に行われ、取り上げられる回数も増えている。

#### ▶ 学術集会

- 一般演題（口演）；ARTにより妊娠・分娩に至った総排泄腔遺残症術後患者の1例  
磯邊 明子，友延 尚子，蔵本 和孝，河村 圭子，濱田 律雄，宮崎 順秀，江頭 活子，加藤 聖子，水本 真夕，遠藤 祐子  
第65回日本生殖医学会学術講演会・総会（オンデマンド配信）  
2020年12月3-23日
- 座長；ワークショップ14 ミュラー管発生異常における内視鏡手術  
加藤 聖子  
第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会（WEB）2020年12月14日-28日
- ワークショップ；当科におけるミューラー管発生異常の手術について  
江頭 活子  
第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会（WEB）2020年12月14日-28日
- Monti-Malone法にて順行性浣腸路の再造設を行った1例  
木下 義晶，小林 隆，荒井 勇樹，大山 俊之，横田 直樹，斎藤 浩一  
第34回日本小児ストーマ・排泄創傷管理研究会（誌上開催）2020年6月13日
- 精巣捻転症の啓発活動：男子高校生の認識調査と学校講義での取り組み  
浅沼 宏  
第108回日本泌尿器科学会総会，  
2020.12.22
- Bottom-up approachによる単孔式腹膜前腔鏡下尿管管切除術  
浅沼 宏

第34回日本泌尿器内視鏡学会総会，2020.11.19

- AYA世代になり外科的介入を要した先天性腎尿路異常（CAKUT）の臨床的検討

浅沼 宏

第17回泌尿器科再建再生研究会，  
2020.9.5

- 慶應義塾大学病院 性分化疾患（DSD）センターの発足と取り組み

浅沼 宏

第63回日本形成外科学会総会・学術集会，2020.8.26

- Klippel-Trenaunay-Weber 症候群に膀胱内リンパ管腫を合併し経尿道的凝固焼灼術を繰り返し施行している1例

浅沼 宏

第632回日本泌尿器科学会東京地方会，2020.2.21

- 先天性副腎皮質過形成に対する女児外陰形成術

浅沼 宏

第5回内分泌アゴラ，2020.1.31

- 総排泄腔遺残症患者の体験 - “終わらない病気”をもつ女性として生きる -

林下里見，濱田裕子，宮田潤子，藤田紋佳，森口晴美

第67回日本小児保健協会学術集会（2020年11月4-6日 久留米）

- 国内外における総排泄腔遺残症患者・家族の体験、看護支援に関する文献レビュー

林下里見，濱田裕子，宮田潤子

日本小児看護学会第29回学術集会（2019年8月3～4日 札幌）

- 第121回日本外科学会定期学術集会 パネルディスカッション「中間位・高位鎖

肛術後の生殖機能の実際」

産婦人科における総排泄腔遺残症の管理（加藤聖子）

中間位・高位鎖肛、総排泄腔遺残術後の生殖機能障害とその治療・管理（浅沼宏）

- 思春期医療研究会 特別講演2021年4月17日

総排泄腔遺残症の管理における産婦人科医の役割（加藤聖子）

- 第57回日本周産期・新生児学会学術集会 倫理委員会シンポジウム  
 「重症新生児の長期予後と出生前診断」  
 Cloacal malformationの出生前診断と生後管理（城戸咲、加藤聖子）
- 第71回愛媛県産婦人科医会学術集談会および第37回愛媛県産婦人科医会臨床集談会 特別講演  
 産婦人科における性分化疾患の治療（加藤聖子）
- 2020年 2021年 第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 ショートレクチャー  
 総排泄腔異常症の治療戦略」（木下義晶）
- 2021年 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会教育セミナー  
 「総排泄腔異常症」（木下義晶）
- 第36回新潟産科婦人科手術・内視鏡下手術研究会 特別講演  
 総排泄腔異常症に対する治療戦略（木下義晶）
- 2021年 第109回日本泌尿器科学会総会/第58回日本小児外科学会学術集会  
 Joint Session（2021年12月）  
 「総排泄腔遺残症：生涯的な機能予後を考える」（木下義晶）
- 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 シンポジウム2  
 小児泌尿器科  
 疾患の発生と成長・発達  
 染色体異常を有する小児泌尿器科疾患の管理：手術療法の適否を含めて（浅沼宏）
- 乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会 Part V第2回  
 泌尿器科領域  
 停留精巣・陰嚢水腫・陰唇癒合（浅沼宏）
- 第58回日本小児外科学会学術集会  
 共通管長4.5cmの症例に対する腹腔鏡補助下PUM（田中裕次郎、浅沼宏）
- 第68回日本小児保健協会学術集会  
 総排泄腔遺残症の子どもを持つ母親の体験  
 （三原 優希，濱田 裕子，宮田潤子，藤田 紋佳，森口 晴美，田口 智章，伊崎智子）
- 第58回日本小児外科学会学術集会  
 パネル・ディスカッション1  
 「医療の狭間を作らない；トランジション医療や医療児ケアの在り方」患者の語りからみえた総排泄腔遺残症のトランジション医療問題と包括的支援策。  
 （宮田潤子，小幡 聡，桐野 浩輔，入江 敬子，大森 淳子，伊崎智子，木下 義晶，松浦 俊治，田口 智章）
- 第31回日本小児外科QOL研究会  
 Web 会議システムの利用による総排泄腔遺残症/外反症におけるピアサポートの新たな可能性  
 （宮田潤子，濱田裕子，藤田紋佳，森口晴美，川田紀美子，小幡聡，桐野浩輔，林下里見，三原優希，植木慎悟，木下義晶，加藤 聖子，田尻達郎，田口智章）
- 産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～  
加藤 聖子  
 広島県西部地区産婦人科医会 学術講演会  
 2022年5月19日 広島市  
 特別講演；産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～  
加藤 聖子  
 熊本産婦人科二十日会  
 2022年6月15日 熊本市  
 「産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～」  
加藤 聖子  
 第5回茨城女性医療セミナー  
 2022年10月1日 つくば市  
 特別講演；『月経困難症治療：薬剤選択のポイント』  
加藤 聖子  
 第5回滋賀婦人科内分泌セミナー  
 2022年11月19日 ハイブリッド開催 草津市
- 総排泄腔遺残症での適切な支援構築に向けた患者と医師のニーズに関するアンケート調査。  
 宮田潤子，小幡聡，桐野浩輔，木

- 下義晶, 田尻達郎, 田口智章  
第59回日本小児外科学会学術集会, 令和4年5月19-21日, 東京
- ・ 中間位鎖肛手術を極める中間位鎖肛に対するPSARPの術後排便機能と筋筒再建を考慮した新しい取り組み.  
福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 小幡聡, 武本淳吉, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 松浦俊治, 田尻達郎  
第47回日本外科系連合学会学術集会, 令和4年6月15日-17日, 岩手
  - ・ 卵巣機能不全に対するホルモン補充療法中の更年期様症状に漢方治療が奏功した総排泄腔遺残の一人例.  
宮田潤子, 近藤琢也, 小幡聡, 日野祐子, 貝沼茂三郎, 田尻達郎  
第26回日本小児外科漢方研究会, 令和4年10月28日, 岡山
  - ・ 造脛術後の経血路確保困難に対して直腸肛門を用いた再造脛術を行った総排泄腔遺残の1例.  
小幡聡, 宮田潤子, 永田公二, 矢幡秀昭, 加藤聖子, 田尻達郎  
第78回直腸肛門奇形研究会, 令和4年10月28日, 岡山
  - ・ 総排泄腔遺残症患者に対するピアサポートの促進とその有用性に関する研究.  
宮田潤子  
第29回ファイザーヘルスリサーチフォーラム, 令和4年12月17日-18日, 東京
  - ・ 直腸肛門を代用脛とした総排泄腔遺残の1例.  
小幡聡, 宮田潤子, 永田公二, 近藤琢也, 馬庭淳之介, 福田篤久, 川久保尚徳, 柳佑典, 松浦俊治, 田尻達郎.  
第1回総排泄腔異常シンポジウム, 令和5年2月26日-27日, 岡山
  - ・ 根治術後からCICを導入した高位合流型の総排泄腔遺残症の一例  
岩佐 俊, 浅沼 宏, 野崎 祥子, 高橋 遼平, 大家 基嗣  
第36回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会, 2022/6/11、大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館
  - ・ 染色体異常を有するDSDの手術適応と小児泌尿器科的管理  
岩佐 俊, 浅沼 宏, 石井智弘, 安水洋太, 田中伸之, 武田利和, 松本一宏, 森田伸也, 小坂威雄, 水野隆一, 長谷川奉延, 大家基嗣  
第55回日本小児内分泌学会学術集会、2022/11/1～11/3、パシフィコ横浜ノース
  - ・ QOL改善を目指した手術療法 - 小児外科医の立場から -  
木下義晶  
第8回日本産科婦人科遺伝診療学会 シンポジウム3 (周産期/生殖)  
2022年10月29日-30日 新潟
  - ・ 結腸を利用した造脛術が有効であった重複脛合併の総排泄腔遺残の1例  
荒井勇樹, 木下義晶, 小林 隆, 高橋良彰, 大山俊之, 横田直樹, 菅井 佑, 高野祥一, 星野さや香, 小原健司  
第31回日本小児泌尿器科学会, 2022年7月20日-22日 東京
  - ・ 総排泄腔外反に対し新生児期に膀胱閉鎖を行った1例と乳児期に解放管理を行った1例  
星野さや香, 小原健司, 星井達彦, 荒井勇樹, 高橋良彰, 小林隆, 木下義晶, 富田善彦  
第31回日本小児泌尿器科学会, 2022年7月20日-22日 東京
  - ・ 結腸を利用した造脛術を行った重複脛合併の総排泄腔遺残の1例.  
木下義晶  
第1回総排泄腔異常シンポジウム, 令和5年2月26日-27日, 岡山
- 刊行物
- ・ 会長講演；女性の一生を診る  
加藤 聖子  
日本女性医学学会雑誌. 27(4): 529-532, 2020
  - ・ <シンポジウム1：総排泄腔遺残症管理への産婦人科の役割>  
周産期医療における総排泄腔遺残  
城戸 咲  
日本女性医学学会雑誌. 27(4): 557-561, 2020
  - ・ 総排泄腔遺残症診療における小児

外科医の取り組み

木下 義晶

日本女性医学学会雑誌 .

27(4) :562-567, 2020

- 先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患の診療指針

木下 義晶

泌尿器科 . 12(2) :212-220, 2020

- 総排泄腔遺残症の長期的管理における泌尿器科医の役割

浅沼 宏

日本女性医学学会雑誌 .

27(4) :571-576, 2020

- 性分化疾患と環境的要因

浅沼 宏

泌尿器科 . 12(2) :118-124, 2020

- 当院における総排泄腔遺残症に対する協同手術

浅沼 宏

小児外科 . 52(3) :271-275, 2020

- 泌尿器科医として習得したい手術急性陰嚢症 どのような場合に手術が必要か?どのような手術をすべきか?

浅沼 宏

臨床泌尿器科 . 74(7) : 472-477, 2020

- 泌尿器腫瘍

浅沼 宏

小児外科 . 52(5) :480-485, 2020

- 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療停留精巣・精巣捻転症

浅沼 宏

日本医事新報 . 5015:49-51, 2020

- 【小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法】

総排泄腔遺残症

木下 義晶 小児外科53(3) : 319-322, 2021

- 【早期発見!搬送・紹介のタイミングもわかる 新生児の外科疾患10】

鎖肛・総排泄腔異常症(総排泄腔遺残・総排泄腔外反)

木下 義晶 with NEO 34(2) : 270-273, 2021

- 発生学から考えてみよう!小児の先天疾患 水腎症、総排泄腔外反  
浅沼 宏, 高橋遼平, 大家基嗣  
小児科診療 84(8) : 1097-1104 ,

2021

- 外来で役立つ知識:外陰部・会陰部・肛門部周辺の疾患 陰核肥大  
浅沼 宏, 高橋遼平, 大家 基嗣  
小児外科53(6) : 611-615, 2021

- ARTにより妊娠成立後、帝王切開術で生児を獲得し得た総排泄腔遺残症術後患者の1例

磯邊 明子, 蔵本 和孝, 友延 尚子, 河村 圭子, 濱田 律雄, 宮崎順秀, 江頭 活子, 城戸 咲, 加藤聖子

日本女性医学学会雑誌 28(4) : 577-580, 2021

- 総排泄腔遺残症患者の体験 継続的・包括的支援体制の構築に向けて

Experience of patients with persistent cloaca - To

construct a continuous and comprehensive support system -

林下 里美, 濱田 裕子, 宮田 潤子, 藤田 紋佳, 森口 晴美, 伊崎智子, 加藤 聖子, 田口 智章 看護研究集録 28 : 84-111, 2021

- 特集/大きく変わった?ステロイドの使い方:妊婦・授乳期におけるステロイドの使い方

蜂須賀 信孝, 藤田 恭之, 加藤聖子

月刊 臨牀と研究 別冊 . 99(10) : 76-81, 2022.10

- 【ケアの介入・搬送・報告のタイミングが変わる!新生児の生理・徴候と代表的疾患まるごとガイド】(第3章)新生児の代表的疾患消化器系の疾患 直腸肛門形成異常

木下 義晶

With NEO.2022 秋季増刊 : 204-208, 2022

- 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療腸重積症

木下 義晶

日本医事新報5131 : 44-45, 2022

- 総排泄腔疾患

木下 義晶

日本小児泌尿器科学会雑誌 31(1) : 11-14, 2022

- 画像診断と病理 精巣類表皮嚢胞

富永 理喜, 石川 浩志, 荒井  
勇樹, 小林 隆, 木下 義晶, 梅  
津 哉  
画像診断42(5) : 346-347, 2022

#### 患者・市民への情報提供手段

市民公開講座を毎年行うことができた。オンラインを活用し、全国からの参加者がある。患者交流会も地域から、全国へ交流が広まり、患者会も立ち上がった。

さらにクローアカnetプロジェクトとしてのHPを立ち上げ、本研究の紹介に加えて、患者さんが必要とする医療情報検索システムを整備した。

- ・ オンライン市民公開講座 (計5回)
- ・ 患者交流会 (これまでに計5回)
- ・ 「総排泄腔疾患の会」のFacebook、Instagram、Twitterアカウントを作成し、SNS発信を行っている。
- ・ クローアカnetプロジェクト (医療情報検索システム)  
ホームページを立ち上げ、本研究に関して紹介するのみでなく、本疾患に関して対応可能な医療機関の掲載 (アンケート調査で当該施設より取得した情報)、ガイドラインの情報などを提供している。

#### D . 考察

新規レジストリー構築については小児慢性特定疾病や指定難病の個票の内容、窪田班で行われた全国調査、日本産科婦人科学会女性ヘルスケア委員会調査の内容を参考に草案を作成し、直腸肛門奇形研究会の運営委員会、施設代表者会議に提案し、承認を得た。今後研究計画書の作成を行い、システムの構築の作業へ進める。診療科間の情報共有については近年、小児外科系、泌尿器科系、産婦人科系の学会や研究会において特別講演やシンポジウムで取り上げられることが多くなり、刊行物などの成果物も増えており、今後も活動を継続、発展させる。また患者交流会や、市民公開講座が積極的に行われ、SNSなどを通じての情報共有の手段の整備が進んだ。最終年度の大きな成果としてクローアカnetプロジェクトを立ち上げたことがあり、HPに本研究の紹介、本疾患に関して対応可能な医療機関の記載、ガイドラインの情報などを提供している。

#### E . 結論

新規レジストリー構築、診療科間の情報共有、患者会・市民公開講座などの啓発活動などについて目的とする成果をあげている。今後も活動を継続、発展させていきたい。

#### F . 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) Contribution of Senescence in Human Endometrial Stromal Cells During Proliferative Phase to Embryo Receptivity.  
Tomari H, Kawamura T, Asanoma K, Egashira K, Kawamura K, Honjo K, Nagata Y, Kato K  
Biol Reprod. 2020 Jun 23;103(1):104-113. doi: 10.1093/biolre/ioaa044.  
Biol Reprod . : 1-10, 2020
- 2) Germ cell-intrinsic effects of sex chromosomes on early oocyte differentiation in mice.  
Hamada N, Hamazaki N, Shimamoto S, Hikabe O, Nagamatsu G, Takada Y, Kato K, Hayashi K  
PLoS Genet. 16(3): 01-26, 2020
- 3) Annual report of the Women's Health Care Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2020.  
Kato K, Terauchi M  
J Obstet Gynaecol Res. : 01-11, 2020
- 4) Identification of genes associated with endometrial cell ageing.  
Kawamura T, Tomari H, Onoyama I, Araki H, Yasunaga M, Lin C, Kawamura K, Yokota N, Yoshida S, Yagi H, Asanoma K, Sonoda K, Egashira K, Ito T, Kato K  
Mol Hum Reprod. 27(2): 01-12, 2021
- 5) Annual report of the Women's Healthcare Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2021.  
Kato K, Terauchi M  
J Obstet Gynaecol Res. 48(1): 34-48, 2021
- 6) Mitochondrial dysfunction-induced high hCG associated with development of fetal growth restriction and pre-eclampsia with fetal growth restriction.  
Kiyokoba R, Uchiumi T, Yagi M, Toshima T, Tsukahara S, Fujita Y, Kato K, Kang D

- Sci Rep. 12(1):4056: 01-15. 2022.03
- 7) Association of fetal eye movement density with sleeping and developmental problems in 1.5-year-old infants. Nakahara K, Morokuma S, Maehara K, Okawa H, Funabiki Y, Kato K Sci Rep. 12(1): 01-08. 2022.05
- 8) Lung to thorax transverse area ratio as a predictor of neurodevelopmental outcomes in fetuses with congenital diaphragmatic hernia. Sawano T, Kondo T, Ebihara G, Nagata K, Inoue H, Fujiyoshi J, Ochiai M, Kido S, Fujita Y, Sakai Y, Kato K, Tajiri T, Ohga S Early Hum Dev. 170: 01-06, 2022.07
- 9) Immunohistochemistry reveals an increased number of ganglion cells in the normal-size plexus, as a pathological feature of immaturity of ganglia. Yoshimaru K, Miyoshi K, Kinoshita Y, Obata S, Yanagi Y, Takahashi Y, Kajihara K, Irie K, Uchida Y, Toriigahara Y, Kawano Y, Kohashi K, Yoshioka T, Nakazawa A, Matsuura T, Oda Y, Tajiri T, Taguchi T. Comparative Clinical Pathology.doi.org/10.1007/s00580-022-03390-w. 2022
- 10) Short stature as an initial presenting presentation of unicentric Castleman disease in a child: A case report with long-term follow-up and a literature review. Sonoda K, Kaneko U, Hiura M, Kinoshita Y, Umezu H, Ito S, Saitoh A, Imai C. Mod Rheumatol Case Rep. 2023 7(1):261-266
- 11) A rare case of eosinophilic gastrointestinal disorders with short bowel syndrome after strangulated bowel obstruction. Arai Y, Kinoshita Y, Kobayashi T, Takahashi Y, Ohyama T, Yokota N, Sugai Y, Takano S, Hamasaki Y, Kaneko U, Kanada S. Surgical Case Reports. 2022 8:168
- 12) The usefulness of OK-432 for the treatment of postoperative chylothorax in a low-birth-weight infant with trisomy 18. Takahashi Y, Kinoshita Y, Kobayashi T, Arai Y, Ohyama T, Yokota N, Saito K, Sugai Y, Takano S. Clinical Case Reports.doi:10.1002/ccr3.5844 , 2022
- 13) Endometrial Cancer After Pancreas-After-Kidney Transplantation: A Case Report and Review of the Literature. Kobayashi T, Miura K, Ishikawa H, Toge K, Hirose Y, Takizawa K, Sakata J, Wakai T, Ishiguro T, Kudo R, Enomoto T, Saito K, Tasaki M, Ikeda M, Tomita Y, Kinoshita Y. Transplant Proc. 2022 Mar;54(2) : 560-564.
- 14) Usefulness of Living Donor Liver Transplantation for Patients After Undergoing the Kasai Operation for Biliary Atresia. Kobayashi T, Kinoshita Y, Takahashi Y, Ohyama T, Arai Y, Yokota N, Saito K, Miura K, Ishikawa H, Sakata J, Wakai T. Transplant Proc. 2022 Mar;54(2) : 435-437.
- 15) Laparoscopic approach for abdominal neuroblastoma in Japan: results from nationwide multicenter survey. Kawano T, Souzaki R, Sumida W, Ishimaru T, Fujishiro J, Hishiki T, Kinoshita Y, Kawashima H, Uchida H, Tajiri T, Yoneda A, Oue T, Kuroda T, Koshinaga T, Hiyama E, Nio M, Inomata Y, Taguchi T, Ieiri S. Surg Endosc. 2022 May;36(5) : 3028-3038.
- 16) 会長講演 ; 女性の一生を診る  
加藤 聖子  
日本女性医学学会雑誌 . 27(4) : 529-532, 2020
- 17) <シンポジウム 1 : 総排泄腔遺残症管理への産婦人科の役割>  
周産期医療における総排泄腔遺残  
城戸 咲  
日本女性医学学会雑誌 . 27(4) : 557-561, 2020
- 18) 総排泄腔遺残症診療における小児外科医の取り組み  
木下 義晶  
日本女性医学学会雑誌 . 27(4) : 562-567, 2020
- 19) 先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患の診療指

- 針  
木下 義晶  
泌尿器科 . 12(2):212-220,2020
- 20) 総排泄腔遺残症の長期的管理における泌尿器科医の役割  
浅沼 宏  
日本女性医学学会雑誌 . 27(4):571-576,2020
- 21) 性分化疾患と環境的要因  
浅沼 宏  
泌尿器科 . 12(2):118-124,2020
- 22) 当院における総排泄腔遺残症に対する協同手術  
浅沼 宏  
小児外科 . 52(3):271-275,2020
- 23) 泌尿器科医として習得したい手術 急性陰囊症 どんな場合に手術が必要か?どのような手術をすべきか?  
浅沼 宏  
臨床泌尿器科 . 74(7): 472-477,2020
- 24) 泌尿器腫瘍  
浅沼 宏  
小児外科 . 52(5):480-485,2020
- 25) 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 停留精巣・精巣捻転症  
浅沼 宏  
日本医事新報 . 5015:49-51,2020
- 26) 【小児外科疾患における公費負担医療の種類と申請方法】  
総排泄腔遺残症  
木下 義晶 小児外科53(3) : 319-322 , 2021
- 27) 【早期発見!搬送・紹介のタイミングもわかる 新生児の外科疾患10】  
鎖肛・総排泄腔異常症(総排泄腔遺残・総排泄腔外反)  
木下 義晶 with NEO 34(2) : 270-273 , 2021
- 28) 発生学から考えてみよう!小児の先天疾患 水腎症、総排泄腔外反  
浅沼 宏 , 高橋遼平 , 大家基嗣 小児科診療84(8) : 1097-1104 , 2021
- 29) 外来で役立つ知識:外陰部・会陰部・肛門部周辺の疾患 陰核肥大  
浅沼 宏 , 高橋遼平 , 大家 基嗣 小児外科53(6) : 611-615 , 2021
- 30) ARTにより妊娠成立後、帝王切開術で生児を獲得し得た総排泄腔遺残症術後患者の1例  
磯邊 明子, 蔵本 和孝, 友延 尚子, 河村 圭子, 濱田 律雄, 宮崎 順秀, 江頭 活子, 城戸 咲, 加藤 聖子  
日本女性医学学会雑誌28(4): 577-580 , 2021
- 31) 総排泄腔遺残症患者の体験 継続的・包括的支援体制の構築に向けて  
Experience of patients with persistent cloaca - To construct a continuous and comprehensive support system -  
林下 里美, 濱田 裕子, 宮田 潤子, 藤田 紋佳, 森口 晴美, 伊崎 智子, 加藤 聖子, 田口 智章 看護研究集録 28 : 84-111 , 2021
- 32) 特集/大きく変わった?ステロイドの使い方:妊婦・授乳期におけるステロイドの使い方  
蜂須賀 信孝, 藤田 恭之, 加藤 聖子  
月刊 臨牀と研究 別冊 . 99(10): 76-81, 2022.10
- 33) 【ケアの介入・搬送・報告のタイミングが変わる!新生児の生理・徴候と代表的疾患まるごとガイド】(第3章)新生児の代表的疾患 消化器系の疾患 直腸肛門形成異常  
木下 義晶  
With NEO.2022秋季増刊 : 204-208 , 2022
- 34) 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 腸重積症  
木下 義晶  
日本医事新報5131 : 44-45 , 2022
- 35) 総排泄腔疾患  
木下 義晶  
日本小児泌尿器科学会雑誌31(1) : 11-14 , 2022
- 36) 画像診断と病理 精巣類表皮嚢胞  
富永 理喜, 石川 浩志, 荒井 勇樹, 小林 隆, 木下 義晶, 梅津 哉  
画像診断42(5) : 346-347 , 2022
2. 学会発表
- 1) 一般演題(口演);ARTにより妊娠・分娩に至った総排泄腔遺残症術後患者の1例  
磯邊 明子, 友延 尚子, 蔵本 和孝, 河村 圭子, 濱田 律雄, 宮崎 順秀, 江頭 活子, 加藤 聖子, 水本 真夕, 遠藤 祐子  
第65回日本生殖医学会学術講演会・総会(オンデマンド配信)2020年12月3-23日
- 2) 座長;ワークショップ14 ミュラー管発生異常における内視鏡手術  
加藤 聖子  
第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(WEB)2020年12月14日-28日
- 3) ワークショップ;当科におけるミュラー管発生異常の手術について



- 江頭 活子  
第60回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 (WEB) 2020年12月14日-28日
- 4) Monti-Malone法にて順行性浣腸路の再造設を行った1例  
木下 義晶, 小林 隆, 荒井 勇樹, 大山 俊之, 横田 直樹, 斎藤 浩一  
第34回日本小児ストーマ・排泄創傷管理研究会 (誌上開催) 2020年6月13日
- 5) 精巣捻転症の啓発活動: 男子高校生の認識調査と学校講義での取り組み  
浅沼 宏  
第108回日本泌尿器科学会総会, 2020.12.22
- 6) Bottom-up approachによる単孔式腹膜前腔鏡下尿管切除術  
浅沼 宏  
第34回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2020.11.19
- 7) AYA世代になり外科的介入を要した先天性腎尿路異常 (CAKUT) の臨床的検討  
浅沼 宏  
第17回泌尿器科再建再生研究会, 2020.9.5
- 8) 慶應義塾大学病院 性分化疾患 (DSD) センターの発足と取り組み  
浅沼 宏  
第63回日本形成外科学会総会・学術集会, 2020.8.26
- 9) Klippel-Trenaunay-Weber症候群に膀胱内リンパ管腫を合併し経尿道的凝固焼灼術を繰り返し施行している1例  
浅沼 宏  
第632回日本泌尿器科学会東京地方会, 2020.2.21
- 10) 先天性副腎皮質過形成に対する女児外陰形成術  
浅沼 宏  
第5回内分泌アゴラ, 2020.1.31
- 11) 総排泄腔遺残症患者の体験 - “終わらない病氣” をもつ女性として生きる -  
林下里見, 濱田裕子, 宮田潤子, 藤田紋佳, 森口晴美  
第67回日本小児保健協会学術集会 (2020年11月4-6日 久留米)
- 12) 国内外における総排泄腔遺残症患者・家族の体験、看護支援に関する文献レビュー  
林下里見, 濱田裕子, 宮田潤子  
日本小児看護学会第29回学術集会 (2019年8月3-4日 札幌)
- 13) 第121回日本外科学会定期学術集会 パネルディスカッション「中間位・高位鎖肛術後の生殖機能の実際」
- 産婦人科における総排泄腔遺残症の管理 (加藤聖子)  
中間位・高位鎖肛、総排泄腔遺残術後の生殖機能障害とその治療・管理 (浅沼宏)
- 14) 思春期医療研究会 特別講演2021年4月17日  
総排泄腔遺残症の管理における産婦人科医の役割 (加藤聖子)
- 15) 第57回日本周産期・新生児学会学術集会倫理委員会シンポジウム「重症新生児の長期予後と出生前診断」  
Cloacal malformationの出生前診断と生後管理 (城戸咲, 加藤聖子)
- 16) 第71回愛媛県産婦人科医会学術集談会および第37回愛媛県産婦人科医会臨床集談会 特別講演  
産婦人科における性分化疾患の治療 (加藤聖子)
- 17) 2020年 2021年 第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 ショートレクチャー  
総排泄腔異常症の治療戦略 (木下義晶)
- 18) 2021年 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会教育セミナー  
「総排泄腔異常症」 (木下義晶)
- 19) 第36回新潟産科婦人科手術・内視鏡下手術研究会 特別講演  
総排泄腔異常症に対する治療戦略 (木下義晶)
- 20) 2021年 第109回日本泌尿器科学会総会/第58回日本小児外科学会学術集会  
Joint Session (2021年12月)  
「総排泄腔遺残症: 生涯的な機能予後を考える」 (木下義晶)
- 21) 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 シンポジウム2 小児泌尿器科疾患の発生と成長・発達  
染色体異常を有する小児泌尿器科疾患の管理: 手術療法の適否を含めて (浅沼宏)
- 22) 乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会 Part V第2回 泌尿器科領域  
停留精巣・陰嚢水腫・陰唇癒合 (浅沼宏)
- 23) 第58回日本小児外科学会学術集会  
共通管長4.5cmの症例に対する腹腔鏡補助下PUM (田中裕次郎, 浅沼宏)
- 24) 第68回日本小児保健協会学術集会  
総排泄腔遺残症の子どもを持つ母親の体験 (三原 優希, 濱田 裕子, 宮田 潤子, 藤田 紋佳, 森口 晴美, 田口 智章, 伊崎 智子)
- 25) 第58回日本小児外科学会学術集会 パネル・ディスカッション1  
「医療の狭間を作らない; トランジション

医療や医療児ケアの在り方」患者の語りからみえた総排泄腔遺残症のトランジション医療問題と包括的支援策.

(宮田潤子, 小幡 聡, 桐野 浩輔, 入江 敬子, 大森 淳子, 伊崎 智子, 木下 義晶, 松浦 俊治, 田口 智章)

26) 第31回日本小児外科QOL研究会

Web 会議システムの利用による総排泄腔遺残症/外反症におけるピアサポートの新たな可能性

(宮田潤子, 濱田裕子, 藤田紋佳, 森口晴美, 川田紀美子, 小幡 聡, 桐野浩輔, 林下里見, 三原優希, 植木慎悟, 木下義晶, 加藤 聖子, 田尻達郎, 田口智章)

27) 産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～

加藤 聖子

広島県西部地区産婦人科医会 学術講演会  
2022年5月19日 広島市

28) 特別講演；産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～

加藤 聖子

熊本産婦人科二十日会  
2022年6月15日 熊本市

29) 「産婦人科における性分化疾患の治療～月経異常と月経随伴症状の観点から～」

加藤 聖子

第5回茨城女性医療セミナー  
2022年10月1日 つくば市

30) 特別講演；『月経困難症治療：薬剤選択のポイント』

加藤 聖子

第5回滋賀産婦人科内分泌セミナー  
2022年11月19日 ハイブリッド開催 草津市

31) 総排泄腔遺残症での適切な支援構築に向けた患者と医師のニーズに関するアンケート調査.

宮田潤子, 小幡聡, 桐野浩輔, 木下義晶, 田尻達郎, 田口智章

第59回日本小児外科学会学術集会, 令和4年5月19-21日, 東京

32) 中間位鎖肛手術を極める中間位鎖肛に対するPSARPの術後排便機能と筋筒再建を考慮した新しい取り組み.

福田篤久, 永田公二, 宮田潤子, 小幡聡, 武本淳吉, 川久保尚徳, 吉丸耕一朗, 松浦俊治, 田尻達郎

第47回日本外科系連合学会学術集会, 令和4年6月15日-17日, 岩手

33) 卵巣機能不全に対するホルモン補充療法中の更年期様症状に漢方治療が奏功した総排泄腔遺残の1成人例.

宮田潤子, 近藤琢也, 小幡聡, 日野祐子, 貝沼茂三郎, 田尻達郎

第26回日本小児外科漢方研究会, 令和4年10月28日, 岡山

34) 造脘術後の経血路確保困難に対して直腸肛門を用いた再造脘術を行った総排泄腔遺残の1例.

小幡聡, 宮田潤子, 永田公二, 矢幡秀昭, 加藤聖子, 田尻達郎

第78回直腸肛門奇形研究会, 令和4年10月28日, 岡山

35) 総排泄腔遺残症患者に対するピアサポートの促進とその有用性に関する研究.

宮田潤子

第29回ファイザーヘルスリサーチフォーラム, 令和4年12月17日-18日, 東京

36) 直腸肛門を代用脘とした総排泄腔遺残の1例.

小幡聡, 宮田潤子, 永田公二, 近藤琢也, 馬庭淳之介, 福田篤久, 川久保尚徳, 柳佑典, 松浦俊治, 田尻達郎.

第1回総排泄腔異常シンポジウム, 令和5年2月26日-27日, 岡山

37) 根治術後からCICを導入した高位合流型の総排泄腔遺残症の一例

岩佐 俊, 浅沼 宏, 野崎 祥子, 高橋 遼平, 大家 基嗣

第36回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会, 2022/6/11, 大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館

38) 染色体異常を有するDSDの手術適応と小児泌尿器科的管理

岩佐 俊, 浅沼 宏, 石井智弘, 安水洋太, 田中伸之, 武田利和, 松本一宏, 森田伸也, 小坂威雄, 水野隆一, 長谷川奉延, 大家基嗣

第55回日本小児内分泌学会学術集会, 2022/11/1~11/3, パシフィコ横浜ノース

39) QOL改善を目指した手術療法 - 小児外科医の立場から -

木下義晶

第8回日本産科婦人科遺伝診療学会 シンポジウム3 (周産期/生殖)

2022年10月29日-30日 新潟

40) 結腸を利用した造脘術が有効であった重複脘合併の総排泄腔遺残の1例

荒井勇樹, 木下義晶, 小林 隆, 高橋良彰, 大山俊之, 横田直樹, 菅井 佑, 高野祥一,

星野さや香, 小原健司

第31回日本小児泌尿器科学会, 2022年7月  
20日-22日 東京

- 41) 総排泄腔外反に対し新生児期に膀胱閉鎖を行なった1例と乳児期に解放管理を行なった1例

星野さや香, 小原健司, 星井達彦, 荒井勇樹,  
高橋良彰, 小林隆, 木下義晶, 富田善彦

第31回日本小児泌尿器科学会, 2022年7月  
20日-22日 東京

- 42) 結腸を利用した造脘術を行なった重複脘合併の総排泄腔遺残の1例.

木下義晶

第1回総排泄腔異常シンポジウム, 令和5  
年2月26日-27日, 岡山

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし